

11 経済産業省 特区第16次 検討要請

管理コード	—	プロジェクト名		
要望事項 (事項名)	個人等が所有しているエコポイントと当選品付き抽選券を交換し、いずれかの応募者に環境配慮型商品が当たる「エコポイント宝くじ(仮称)」の創設	都道府県	福井県	
		提案事項管理番号	1024010	
提案主体名	株式会社 市姫商事			

制度の所管・関係府省庁	総務省 法務省 経済産業省 環境省 消費者庁
-------------	------------------------------------

求める措置の具体的内容	<p>今回提案する「エコポイント宝くじ(仮称)」とは、当選品付き抽選券を、個人等が所有しているエコポイントと交換で取得し、いずれかの応募者に環境配慮型商品を配分するシステムです。</p> <p>現在、刑法の特例として、地方財政資金の調達を目的に、都道府県等に宝くじの発売が認められているところですが、このエコポイント宝くじについては、現金ではなくエコポイントを抽選券と交換であり、環境貢献の観点から、関東圏と関西圏において特区として認めていただきたい</p>
具体的事業の実施内容・提案理由	<p>地球温暖化対策の1つの手段として提案させて頂くこのエコポイント宝くじ創設は、当社の特許権を利用したシステムであり、個人等から一定のエコポイントを協賛・拠出して頂き、一定の算出方法で環境配慮型商品が寄贈されるというものであります。この算出方式は現状行われている宝くじ方式、町内会などで利用されているガラガラポン抽選方式と一緒です。</p> <p>エコポイント宝くじのシステムとしては、エコポイントとの交換により抽選券を入手した応募者に、当選品としてエコカーや太陽光発電システムなどの環境配慮型商品が当選するものです。また、応募者から拠出されたエコポイントの一部を、幼児施設(保育所・幼稚園等)などの公益的なエコ事業の促進に充てる予定です。全てが【環境とエネルギー】分野で政府が進める低炭素社会の実現に特化した事業形態で考えられております。</p>

11 経済産業省 特区第16次 検討要請

管理コード	—	プロジェクト名	十勝エネルギー特区	
要望事項 (事項名)	新エネルギーの利活用の促進(バイオエタノール)	都道府県	北海道	
		提案事項管理番号	1036010	
提案主体名	十勝エネルギー特区推進協議会			

制度の所管・関係府省庁	経済産業省 国土交通省 環境省
--------------------	-----------------------

求める措置の具体的内容	バイオエタノールを 10%混合したガソリン(E10)に対応した車が広く公道を走行することを可能とするとともに、E10 の製造及び E10 対応車への E10 の供給を可能とする。
具体的事業の実施内容・提案理由	<p>バイオエタノールは、規格外小麦等から製造し、ガソリンと混合して自動車用燃料として使用することができる。バイオマスから製造するため、カーボンニュートラルであり、CO2 の排出量削減に資する。</p> <p>政府が「温室効果ガス排出量を 1990 年比で 25%削減」を打ち出されたところであるが、達成するためには、運輸部門の CO2 排出量削減は必須であることから、バイオエタノールの高濃度混合利用の早期実施を提案する。</p> <p>なお、E10 燃料はアメリカの諸州で義務づけられるなど既に海外で普及しており、国内の自動車メーカーも技術的に対応済みである。また、排出ガスについても実証実験の結果、法令に規定された許容限度を下回っていることが確認されているところ。</p> <p>E10 を供給する自動車は、E10 に技術的対応が可能な E10 対応車とするが、現状では E10 対応車として車両登録ができないため、公道を走行することができないことから、車両登録を可能とすることを提案する。</p> <p>なお、E10 に対応していない車への E10 誤給油を防止するため、給油機本体やノズルに E10 であることを表示するとともに、給油口の近くに E10 燃料使用可能である旨を表示するなどの対策を講じる必要がある。</p>

11 経済産業省 特区第16次 検討要請

管理コード	—	プロジェクト名	十勝エネルギー特区	
要望事項 (事項名)	新エネルギーの利活用の促進(BDF)	都道府県	北海道	
		提案事項管理番号	1036020	
提案主体名	十勝エネルギー特区推進協議会			

制度の所管・関係府省庁	経済産業省 環境省
-------------	--------------

求める措置の具体的内容	軽油へのバイオディーゼル燃料(BDF)の混合率の上限を20%とする。
具体的事業の実施内容・提案理由	<p>BDFは、廃食用油から製造し、カーボンニュートラルである。軽油と混合することにより自動車用燃料として使用することができ、CO2の排出量削減に資する。</p> <p>政府が「温室効果ガス排出量を1990年比で25%削減」を打ち出されたところであるが、達成するためには、運輸部門のCO2排出量削減は必須であることから、BDFの高濃度混合利用の早期実施を提案する。</p> <p>なお、自動車の安全性を確保するため、混合するBDFについては、JIS規格に合致したBDF(ニート)のみを使用する。また、管理体制についても、「高濃度バイオディーゼル燃料等の使用による車両不具合等防止のためのガイドライン(指導要領)」を基に、自動車管理マニュアルを作成し、適切にエンジンオイルや燃料ホースの点検を行うなど管理体制の整備を図る。</p>